

「デジタル時給」

坂口 裕靖

「ども」「ああ。暑いねー」「熊本はまた地震で、なんか台風ドコドコ出てきて、今年も大変ですね」「また熊本なんてねえ... そういえばすごかったね、あの手術室の映像」「あ、それ見ました。震度6強、八代の熊本総合病院のやつですよね?」「そう、それぞれ。医療機器みんなキャストついてるから、ぐわんぐわん暴れまわって、患者さん助けようと走り寄ったお医者さんや看護師さんが機器に跳ね飛ばされて」「先生が手術中の患者さんに置いかぶさって守ってるところに医療機器やらがごんごんぶつかってる姿、すごかったです」「腹部の手術だったみたいですが、無事終わったらしいよ」「あの状況で...」「ああ、ホントだねえ... すごいよね... ブロだねえ...」「まあでも震度7がこんな頻繁に来られちゃたまらないですよ... 現地の方々大変だと思います」「本当にね... 復興だっていっても、なんかせっかく復興しかけた所なのに... くらいいいねえ」「ギリギリまで借金して、やっと家直したところに地震で潰れたりしたら、

自分だったらもう何の気力もわかないっす」「本当にねえ。元氣玉送るぐらいしかできないが...」「あれっ? 珍しいね!! 今年はお盆休まないんだっけ?」「あ、どもども。いや休みますよ、思いっきり」「そうなの!? えーと... あれ、実家どこだっけ?」「岩手っす」「そうか! そしたら、あれ、出るの?」「... 何がです?」「ほら、あれ... クマ!!」「ああ... バス停でバス待ってたり、家に入り込んで仏壇の果物食べてたりって話聞きますよ」「そうか! 出るのか、クマ!!」「出ます。畑のトウモロコシも襲うんですけど一番美味しい所一口二口かじって捨ててみたいです」「そうか!! 美食家だな、クマ!!」「おかげで家庭菜園どこもやめちゃってますよ」「大変だな!! いや一道中お気を付けて! よい夏休みを! それじゃまた!!」「はい、よろしくおなしゃーす」「うんっ!! またなっ!!」「... あ、今年も帰るの?」「ええ、まあ。今年は法事があんですけど、ちょっと色々仕事も詰まってるんで、ゼロ泊2日の予定で」「元氣だねー。でもほらそういうのってAIでちゃ

っちゃかやってんじゃないの?」「だといいいんですけどねー、なかなかそうはいかんですよ」「そうなの?」「確かにちゃっちゃか進むんです。進むんですけど、問題はどっちに向かって進んでるのか、って事なんです」「ん? どっちってどういうこと?」「AIさん、色々と気を回してこちらの意図を汲もうとはしてくれるんです。でもそれ、こちらが願ってるものと一緒かどうかはわからないし、大抵はどう考えて何をしたかを告げずにずんずん実装しやがります」「すすむんならいいんじゃないの?」「いや、あいつらほら、大数の法則で動くじゃないですか。そうすると、手元のサンプルでそれっぽいのをテキトーに抜き出して構築するわけですよ。ありがちなものをちよろっと作る分には問題ないんですけど、特殊な状況で正しい判断ができるかということ、そうでもないわけです」「そうなの?」「あとですね、あいつらあれで結構悩むんすよ」「悩む? どういうこと?」「思考過程をチャットで返してくれるんですけど、よく見てる

One Point BUZZ WORD

English

長期間車を借りていて、でもずっと乗り回しているわけでもないから、なんらかの駐車場が必要なのですが、とりあえず家の近所のコインパーキングに停めています。ここは最近よくある1日定額タイプでなんの拘束具もないシステムで、碎石ばらまいた地面に足場パイプが埋めてあるだけの駐車場なんですけど、大変重宝しております。基本的にはナンバープレートの数字を入れてチケットを定額で購入し、見えるところにチケットを置いておけば良いというシステム。拘束具が一切ないため、購入したチケットが有効である限り、出入り自由という寸法です。普通の拘束具ありなコインパーキングの場合はお金を払わないと出られないわけですが、こちらのシステムはお金を払わなくても停められて出入り自由な代わりにチケットを買ってね、というユーザーを大変信

用したシステムになってます。チケット自体は感熱紙にプリントされたもので、何年何月何日何時何分から、ナンバープレートなとか、という部分が大きく示され、人目で有効なチケットかどうかがわかるようになってます。

まあそれはいいんですけど、8月じゃないですか。社内はものすごく高温になるわけです。そうすると、朝停めて新たに買ったチケットが、夕方ぐらいにはカスッカスに薄れてほとんど読めなくなったりするわけです。一応ネットワークカメラで駐車場の状況は確認しているみたいですが、何かの加減で見回りにきた際、チケットが読めなくなって違法駐車扱いされたらどうしよう、とちょっとドキドキしてます。

まあこの駐車場、一つ特長があって、駐車料金を説明する看板の上の方に「アイドリングストップ!」ってでかでかと書かれているんですけど、その上に、「NO IDLING TURN ENGINE OFF」って書いてあるんですよ。だれかIDLINGだって教えて上げてほしい...

と『ヒアドキュメントのエスケープに失敗した。やり直す』とか『sshがすぐ終わって結果が見えない。やり方を変える』とか『typoで暴走した』とか『値が返ってこない。再検討する』とかブツブツ言ってるんですよ。こう、なかなか一発でガツとできてないんです」「... そうなの?」「そうなんです。意外とカワイイんですよ」「... そうなると、AIで本当に手間とか減るわけ?」「んー難しい問題ですね。手でコードを書くのに比べると格段に早いのは確かなんですけど、そうやって出力されたコードの大部分は見ないわけじゃないですか。その意味で、とりあえず出来上がるのは早いんですけど、それを確認するのにかなりの手間がかかる感じです」「ふーん」「あとはやっぱり、なんというか、素直すぎて困る部分が」「ほお? 例えば?」「元は80個のファイルをコピーして1000個に増やして処理したものがちゃんと出来てるか確認しようとすることを考えてください。どうやって調べます?」「んー... 全数検査しなきゃ行けないでしょ? そうしたら、1000個のファイルを一つ一つ、元のファイルと付け合わせて調べるかなあ...」「そうですね、それは確実ですね。でもどうでしょう、元のファイルと付け合わせるのは壊れてないらしいというのが分かってからでもいいじゃないですか」「んー、まあそうですね」「ファイルサイズが違ってたら壊れてるのがわかるわけで、それ以上調べなくてもいいじゃないですか。こういうスクリーニングして処理を減らす、というようなことを思いつかないんです」「... まあでもほとんどが壊れてないなら、結局突合するしかないんじゃないの?」「あるファイルの元ファイルが何かかわからないとしましょう。そうしたら、1000個のファイルについて、それぞれ最悪80回比較しないとイケないじゃないですか」「... まあそうなるかな」「ファイルサイズが小さければいいんですけど、そこそこ大きいファイルだと大

変ですよ。最悪80,000回の比較が必要じゃないですか」「そうだね。それにファイルサイズがかかってくるんだもんね」「そうです。さらに悪いことには、『違う』ことは早めにわかるのに、『同じ』ことは最後のバイトまで読まないといけないわけですよ」「ああ... ま、そうですね」「80個の元ファイル、すべて中身が違ったら、それぞれハッシュを作ることを考えます。そうするとハッシュを1080回作れば、どのファイルがどの元ファイルに対応するかは一発でわかります」「たしかにそうですね」「AIさんは基本的に確実な手順を提案して実行するんですけど、その結果負荷が高すぎてサーバが落ちたり、時間内にやりきれなくて全数検査をサンプル検査に落としてごまかしたりと、なんていうか... 新人レベルの間違いをしめるわけです」「そうなの?」「なんで、お守りが必要なんですよ。まずやってほしいことを明確かつ誤解されないように伝えないとイケないし、指定したことをちゃんとやってるかの確認が必要なんです。想定の数倍時間かかってるようなら具体的に何をしたのか聞かないといけません」「んー... 本当にお守りしてるみたいだね」「そうなんです。例えば手元に一覧を記録したファイルがあるのに、1000個のファイルについてリストを1000回apiで問い合わせようとしたりします」「こわっ」「だからつづやきを確認して、待て待てと目を離したスキに何をされるか分かったもんじゃないありません」「ふーん」「なんで、ちょっとしたことなら自分でやったほうが早いんですけど、改

良したり修正したりはAIに任せたいほうが早いんですね」「それってあれかな、大量のつまらない作業とか、そういうやつ?」「そうですね、そういうのは嫌な顔をせず、黙々とやってくれるのがありがたいです。まあ、もっとも顔がないですが」「ああ... 手塚先生のブラック・ジャック、『U-18は知っていた』だね」「いちいち表情見せられてもたまったもんじゃないですが。『へー? そーゆーことするんだー』みたいな嫌ですよ」「まあそうですね。そうするとAIはそんなに使ってないのかな?」「いやむしろちゃちゃ使ってますよ。同じ時間なら、手でやるより遥かに多くのパターンを試してみることができるので、その意味では便利に使ってます。ただ、実行するのに時間がかかるので、そこが問題ですね」「ふーん。で、指示してからできるまで何やってるの?」「何って... 部屋の掃除とか... ご飯作ったりとか...」「... それって仕事してることになるの? なんか... ちょっとやだなあ」「ほら、監督の仕事って待つことですから」「でも... AIに時給払うべきなんじゃ...」「払ってまんがな」

Hiroyasu Sakaguchi
フリーITエンジニア

SWE DISH

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員
1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m以下(地下駐車場可)
3.6 KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ボール4m 搭載
強化サスペンション
国内(100V)海外(240V)対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション

SMART SNG

HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizsat.jp>



設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125

AI Communications k.k.